



電話ガイド



Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)

ライセンスおよび保証規定を含む

Text Part Number: OL-11414-01-J



電話機の一般的なタスク

電話機のオンライン ヘルプを表示する	☎ を押して、[ヘルプ]を選択します。
コールを発信する	番号をダイヤルする前または後に、オフフックにします。
番号をリダイヤルする	[リダイヤル]を押します。
ハンドセットを使用して話し、スピーカで聞く	(グループ リッスン モードのみ。)[Glisten]を押します。
スピーカで聞くだけ	(モニター モードのみ。)[モニター]を押します。
履歴を使用する	☎ を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]または[着信履歴]を選択します。番号を選択し、[ダイヤル]を押します。
番号を編集する	[編集]を押してから、<<または>>を押します。
コールを保留にする、または復帰する	保留にするまたは保留から復帰するコールを強調表示して、⊖ を押します。
新しい番号へコールを転送する	[転送]を押し、番号を入力してから、再び[転送]を押します。
標準の(アドホック)会議コールを開催する	[次へ]>[会議]を押し、参加者にダイヤルしてから、再び[会議]を押します。



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, and the Cisco Systems logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. or its affiliates in the United States and certain other countries. All other brands, names, or trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

OL-11414-01-J



Cisco Unified IP Phone 7906G/7911G 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 5.1 (SCCP/SIP)
















ソフトキーの定義
電話スクリーンのアイコン
ボタン アイコン
短縮ダイヤル
電話機の一般的なタスク






ソフトキーの定義

短縮	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
応答	コールに応答する
割込み	共有回線のコールに自分自身を追加する
折返し	話し中または呼出中の内線が応対可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
C 割込	共有回線のコールに自分自身を追加し、会議を開催する
不在	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
閉じる	現在のウィンドウを閉じる
参加者	会議の参加者を表示する
会議	会議コールを作成する
削除	[編集]の使用時に、カーソルの右側にある文字を削除する
詳細	不在履歴ログおよび着信履歴ログ内のマルチパーティ コールに関する詳細コールレコードを開く
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
D 転送	2つのコールを相互に転送する
サイレント	サイレントをオフにする
編集	履歴の電話番号を編集する
終了	現在のコールを切断する
削除	設定をデフォルトにリセットする
終了	前の画面に戻る
GListen	ハンドセットを使用して話し、スピーカで聞く(グループリッスン)
Gloff	グループリッスンを無効にする
Gピック	別のグループで鳴っているコールに応答する





即転送	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
参加	1本の回線上の複数のコールに参加させて、会議を作成する
ミーティング	Meet-Me 会議コールを開催する
モニタ	通話をスピーカで聞く
モニタオフ	モニタ機能を無効にする
次へ	その他のソフトキーを表示する
メッセージ	ボイスメールシステムにアクセスする
発信	新しいコールを発信する
他 Grp	関連付けられたグループで鳴っているコールに応答する
パーク	コールパークを使用してコールを保存する
ピック	自分のグループでコールに応答する
品質	コールに関する問題をシステム管理者へ送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
削除	会議の参加者を削除する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
検索	ディレクトリリストを検索する
転送	コールを転送する
更新	内容を更新する
ビデオ	ビデオディスプレイモードを選択する
<<	入力した文字を削除する
>>	入力した文字の先に移動する

電話スクリーンのアイコン



コールの状態	
	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	オフフック
	オンフック
	着信コール
	共有回線を使用中
安全なコール	
	認証されたコール
	暗号化されたコール
選択されたデバイス	
	ハンドセットを使用中
	スピーカを使用中（モニタがオンの状態）
重要なコール	
	プライオリティ コール
	プライオリティがやや高いコール
	プライオリティが高いコール
	プライオリティが最も高いコール

その他の機能	
	短縮ダイヤルが設定済み
	メッセージ受信
	オプションが有効
	機能が有効
	ビデオが有効（Cisco Unified IP Phone 7911G のみ）
	履歴の URL エントリが編集可能

ボタン アイコン

	音量
	ナビゲーション
	保留
	アプリケーション メニュー

短縮ダイヤル

目的	操作
短縮ダイヤルを使用する	<ul style="list-style-type: none">  を押して、ダイヤルする番号を選択します。  を押して、[ディレクトリ] > [短縮ダイヤル] を選択します。ダイヤルする番号を選択します。 オンフックの状態では短縮ダイヤルの番号を入力して、[短縮] を押します。



Contents

はじめに 1

- このガイドの使用方法 1
- 追加情報の入手 2
- 安全および使用に関する情報 3
- アクセシビリティ機能 5

電話機の接続 6

電話機の概要 10

- ボタンとハードウェアについて 10
- アプリケーションメニューについて 12
- 電話機のヘルプシステムについて 12
- 回線とコールの違いについて 13
 - 回線およびコールのアイコンについて 13
- 機能のアクセシビリティについて 14
- SIP と SCCP の違いについて 14

基本的なコール処理 15

- コールの発信：基本的なオプション 15
- コールの発信：追加のオプション 16
- コールへの応答 17
- コールの終了 18
- コールの保留と復帰 18
- 複数のコールの切り替え 19
- 複数のコールの表示 19

コールの転送	20
ボイス メッセージ システムへのコールの送信	21
別の電話番号へのすべてのコールの転送	22
サイレントの使用方法	23
会議コールの使用方法	24
会議コールのタイプについて	24
標準の会議の開催と参加	25
Meet-Me 会議コールの開催または参加	26
応用的なコール処理	27
短縮ダイヤル	27
自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答	29
共有回線の使用	30
共有回線について	30
共有回線のコールへの参加	31
他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止	32
パークされているコールの保存と取得	33
安全なコールの送受信	34
不審なコールのトレース	35
重要なコールの優先順位付け	36
Cisco エクステンション モビリティの使用方法	37
ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法	38
グループ リッスン機能の使用方法	39
モニタ機能の使用方法	40
ヘッドセットの使用と購入	41
自動応答の使用	41
電話機の設定の使用方法	42
呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ	42

電話スクリーンのカスタマイズ	43
履歴およびディレクトリの使用方法	44
履歴の使用方法	44
ディレクトリ ダイアル	47
電話機での社内ディレクトリの使用方法	47
電話機での個人ディレクトリの使用方法	48
ボイス メッセージへのアクセス	51
Web での電話機のカスタマイズ	52
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	53
Web での機能とサービスの設定	54
Web での個人ディレクトリの使用方法	54
Web での個人アドレス帳の使用方法	54
Web でのファースト ダイアルの設定	55
アドレス帳同期ツールの使用方法	56
Web での短縮ダイアルの設定	56
Web での電話機サービスの設定	57
Web でのユーザ設定の制御	58
Web での回線設定の制御	59
Cisco WebDialer の使用方法	60
その他の設定オプションについて	63
電話機のトラブルシューティング	65
一般的なトラブルシューティング	65
電話機の管理データの表示	66
Quality Reporting Tool の使用	66

索引



はじめに

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
電話機について調べる	📞 を押して、[ヘルプ]を選択します。
安全情報を参照する	P.3の「安全および使用に関する情報」 を参照してください。
電話機を接続する	P.6の「電話機の接続」 を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.10の「電話機の概要」 を参照してください。
電話機のボタンについて調べる	P.10の「ボタンとハードウェアについて」 を参照してください。
コールを発信する	P.15の「コールの発信：基本的なオプション」 を参照してください。
コールを保留にする	P.18の「コールの保留と復帰」 を参照してください。
コールを転送する	P.20の「コールの転送」 を参照してください。
会議コールを発信する	P.24の「会議コールの使用方法」 を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.27の「短縮ダイヤル」 を参照してください。
電話番号を共有する	P.30の「共有回線の使用」 を参照してください。
電話機のスピーカを使用する	P.38の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」 を参照してください。
呼出音の音量またはトーンを変更する	P.42の「電話機の設定の使用方法」 を参照してください。
不在履歴を表示する	P.44の「履歴およびディレクトリの使用方法」 を参照してください。
ボイスメッセージを聞く	P.51の「ボイスメッセージへのアクセス」 を参照してください。
ソフトキーとアイコンの定義を参照する	このガイドの冒頭にあるクイック リファレンス カードを参照してください。

追加情報の入手

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/univercd/home/home.htm>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

安全および使用に関する情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco Unified IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

必ず、取り付け手順を読んでから、システムを電源に接続してください。



警告

この製品を廃棄処分する際には、日本国の法律および地方自治体の条例または規則に従ってください。



警告

雷の発生中は、システムでの作業、またはケーブルの接続や取り外しを行わないでください。



警告

感電事故を防ぐために、安全超低電圧 (SELV) 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路があり、WAN ポートには TNV 回路があります。一部の LAN ポートと WAN ポートは、いずれも、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続する場合には、注意してください。



注意

インライン電源の回路では、通信ケーブルを介して電流が供給されます。シスコが提供するケーブル、または 24 AWG 以上の通信ケーブルを使用してください。

外付け電源装置の使用

次の警告は、Cisco Unified IP Phone を外付け電源装置と使用する場合に適用されます。



警告

この製品は、設置する建物に短絡（過電流）保護機構が敷設されていることが前提になっています。各相導体（すべての通電導体）に 120 VAC、15A（日本および米国）、または 240 VAC、10A（前記以外の国）以下のヒューズ、または回路ブレーカーが使用されていることを確認してください。



警告

この装置は、TN 電源システムを使用して動作するように設計されています。



警告

プラグとソケットは常に手を伸ばして利用できる状態にしておく必要があります。これは、プラグとソケットが主要な切断装置であるためです。



警告

電源装置は屋内に設置する必要があります。



注意

この製品では、シスコが指定する電源装置だけを使用してください。

電源の停止

電話機による緊急サービスへのアクセシビリティは、電話機の電源が投入されているかどうかによって異なります。電源装置が一時的に中断する場合は、電源が元に戻るまでサービスダイヤルおよび緊急コール サービス ダイヤルが機能しません。電源の障害または中断が発生したときは、サービスダイヤルまたは緊急コール サービス ダイヤルを使用する前に、装置をリセットまたは再設定することが必要な場合があります。

外部デバイスの使用方法

次の情報は、Cisco Unified IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠したヘッドセットだけを使用してください。

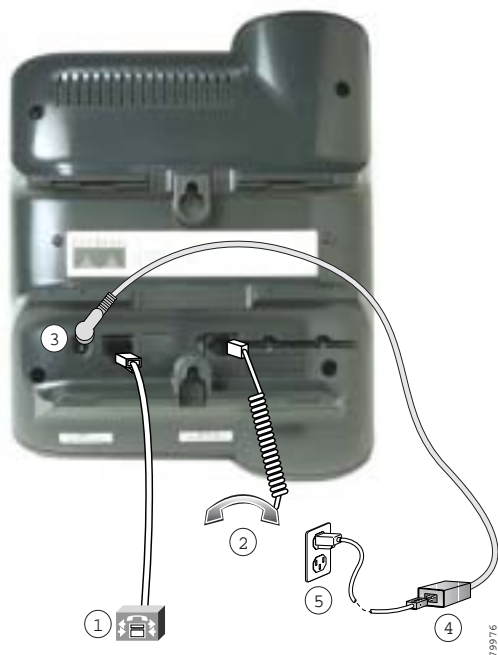
アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストは、申し込みにより入手可能です。

電話機の接続

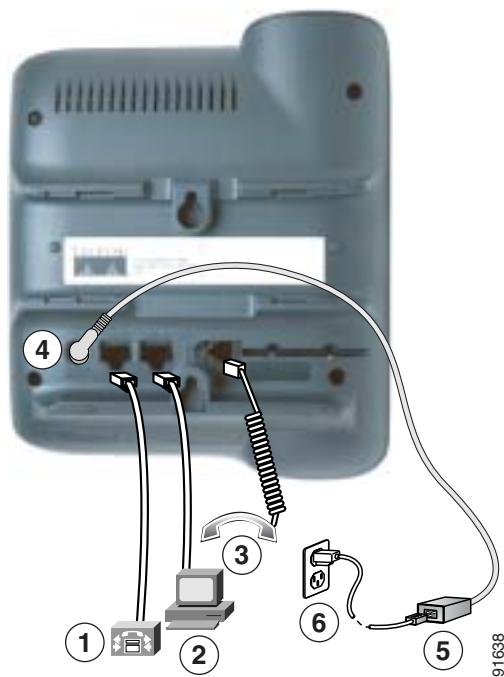
通常は、システム管理者が新しい Cisco Unified IP Phone を企業 IP テレフォニー ネットワークに接続します。それ以外の場合は、次の図を参照して、電話機を接続してください。

次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7906G の接続方法を示しています。



1	ネットワークポート (10/100 SW)	4	AC-DC 電源装置
2	ハンドセットポート	5	AC 電源コード
3	DC アダプタポート (DC48V)		

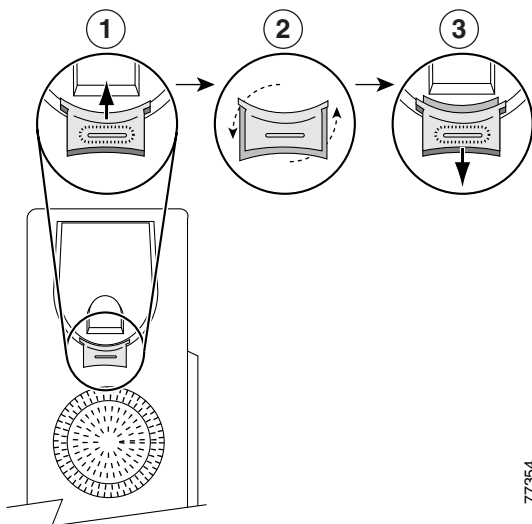
次の図および表は、Cisco Unified IP Phone 7911G の接続方法を示しています。



1	ネットワークポート (10/100 SW)	4	DCアダプタポート (DC48V)
2	アクセスポート (10/100 PC)	5	AC-DC電源装置
3	ハンドセットポート	6	AC電源コード

ハンドセット受け台の調節

電話機を接続する際、ハンドセットが滑り落ちないように、受け台を調整することができます。次の表に手順を示します。



77354

1	ハンドセットを外し、ハンドセットの受け台から四角いプラスチックのタブを引き出します。
2	タブを 180 度回します。
3	タブをハンドセットの受け台に再び差し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。ハンドセットを受け台に戻します。

TAPS (内線番号自動登録システム) への登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、ハンドセットを取り上げて、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

ヘッドセットについて

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットが切断されていることを確認してから、ヘッドセットを電話機の背面にあるハンドセットポートに接続します。

ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

シスコシステムズでは、Cisco Unified IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco Unified IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を1つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco Unified IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質の外部デバイス (ヘッドセット) の使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.5 の「外部デバイスの使用方法」を参照してください。

ヘッドセットのサポートが Cisco Unified IP Phone に適用されない主な理由は、ハム雑音が入る可能性です。この雑音は、リモートの通話相手のみ、またはリモートの通話相手と Cisco Unified IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合があります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。場合によっては、ローカル電源キューブやパワー インジェクタを使用することにより、ユーザに聞こえる雑音を低減または解消することができます。詳細については、P.4 の「外付け電源装置の使用」を参照してください。

音質に対するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音声は主観的なものであるため、シスコはヘッドセットまたはハンドセットの性能を保証できません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットおよびハンドセットは、Cisco Unified IP Phone で使用した場合の音声が良質であることが報告されています。

これらを使用する場合でも、実際の環境で装置をテストして、性能が適しているどうかを判断するのは、最終的にお客様の責任となります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

<http://www.vxicorp.com/cisco>

<http://www.plantronics.com/cisco>

電話機の概要

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G は、コンピュータで使用するデータ ネットワークで音声通信を行うためのすべての機能が搭載された電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

基本的なコール処理のほかに、Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、コール処理機能を拡張する特殊（詳細）なテレフォニー機能をサポートしています。設定に応じて、次の機能をサポートします。

- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページからの電話機の機能およびサービスのオンライン カスタマイズ

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを特定するには、次の図を参照してください。








91031





	項目	説明	参照先
1	電話スクリーン	電話メニューおよびコール アクティビティ (発信者 ID、通話時間、コールの状態など) を表示します。	P.12 の「アプリケーションメニューについて」および P.13 の「回線およびコールのアイコンについて」
2	Cisco Unified IP Phone シリーズ	Cisco Unified IP Phone のモデル シリーズを示します。	—
3	ソフトキー ボタン	電話スクリーンに表示されているソフトキーのオプションをそれぞれアクティブにします。	P.1 の「ソフトキーの定義」
4	ナビゲーション ボタン 	メニュー項目のスクロールや項目の強調表示に使用します。電話機がオンフックの場合、ユーザの短縮ダイヤルを表示します。	P.12 の「アプリケーションメニューについて」および P.27 の「短縮ダイヤル」
5	アプリケーションメニュー ボタン 	表示されるアプリケーション メニューにより、ボイス メッセージ システム、履歴とディレクトリ、各種設定、サービス、およびヘルプにアクセスできます。	P.12 の「アプリケーションメニューについて」
6	保留ボタン 	アクティブ コールの保留、保留したコールの復帰、アクティブ コールと保留したコールの切り替えを行います。	P.18 の「コールの保留と復帰」
7	キーパッド	電話番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。	P.15 の「基本的なコール処理」
8	音量ボタン 	ハンドセット、ヘッドセット、スピーカ、および呼出音の音量を制御します。	P.38 の「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用方法」
9	ライトストリップ付きのハンドセット	ハンドセットのライト ストリップは、着信コールまたは新しいボイス メッセージがあることを示します。	P.51 の「ボイス メッセージへのアクセス」
10	フットスタンド	机やテーブルの上で、電話機の角度を使いやすいように調整できます。	—

アプリケーションメニューについて


電話機能にアクセスするには、アプリケーションメニューを使用します。

目的	操作
アプリケーションメニューにアクセスする	 を押して、アプリケーションのリスト（[メッセージ]、[ディレクトリ]、[設定]、[サービス] および [ヘルプ]）を表示します。
リストまたはメニューをスクロールする	 を押します。
メニュー項目を選択する	 を押してメニュー項目を強調表示し、[選択] を選択します。 または、メニュー項目の番号に対応するキーパッドの数字を押すこともできます。
メニューの1つ前のレベルに戻る	[終了] を押します。このとき、メニューの最上位レベルで [終了] を押すと、メニューが閉じます。
メニューを閉じる（そしてアプリケーションメニューに戻る）	[終了] を1回以上、メニューが閉じるまで押すか、または  を押します。
アプリケーションメニューを終了する	 または [終了] を押します。



(注)  を押すと LED は緑色に変わり、アプリケーションメニューを使用している間は点灯しています。 または [終了] を押さずにアプリケーションの操作を終了する場合（たとえば、新しいコールに回答する場合）電話スクリーンが変わる場合がありますが、 ボタンは緑色のままです。もう一度  を押すと、使用していたアプリケーションが中断した時点から再開します。

電話機のヘルプシステムについて

Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G には、包括的なオンラインヘルプシステムが用意されています。電話機のヘルプを表示するには、 を押して、[ヘルプ] を選択します。









回線とコールの違いについて

回線とコールを混同しないように、次の説明を参照してください。

- 回線：各回線は、他者が自分へのコールに使用できる電話番号（または内線番号）にそれぞれ対応しています。電話機では、1つの回線をサポートできます。
- コール：各回線では、複数のコールをサポートできます。電話機はデフォルトで最大 6 つの接続コールをサポートしますが、システム管理者はこの数を必要に応じて調整できます。アクティブとなり得るコールは常に 1 つに限定されるので、他のコールは自動的に保留状態になります。

回線およびコールのアイコンについて

電話機には、コールおよび回線の状態（オンフック、保留中、呼出中、接続中など）の判断に役立つアイコンが表示されます。


アイコン	コールまたは回線の状態	説明
	オンフック回線	この回線のコール アクティビティはありません。
	オフフック回線	電話番号をダイヤル中、または発信コールの呼出音が鳴っている状態です。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	呼出中のコール	回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	このコールが保留されています。P.18 の「 コールの保留と復帰 」を参照してください。
	リモートで使用中	共有回線の別の電話機に、接続コールがあります。P.30 の「 共有回線について 」を参照してください。
	認証されたコール	P.34 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。
	暗号化されたコール	P.34 の「 安全なコールの送受信 」を参照してください。

機能のアベイラビリティについて

電話機システムの設定によっては、この電話ガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機で利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能のアベイラビリティについては、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

SIP と SCCP の違いについて

電話機は、Session Initiation Protocol (SIP) と Skinny Call Control Protocol (SCCP) のどちらかのシグナリング プロトコルに対応するように設定できます。この設定は、システム管理者が行います。

電話機の機能は、プロトコルによって異なります。この電話ガイドでは、どの機能がどのプロトコルに固有のものを示します。電話機で使用されているプロトコルを知るには、システム管理者に問い合わせるか、電話機の  > [モデル情報] > [コール制御プロトコル] を選択します。

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability は異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。





目的	操作	参照先
コールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号をダイヤルします。	P.10 の「電話機の概要」
オンフックでダイヤルする(ダイヤルトーンあり)	[発信] を押して、電話番号をダイヤルします。	—
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押します。	—
別のコールがアクティブなときにコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> ● を押します。 [発信] を押します。 番号を入力します。 	P.18 の「コールの保留と復帰」
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> ⊕ を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[着信履歴] または [発信履歴] を選択します。 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。 	P.44 の「履歴の使用方法」

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ダイヤル] を押します。
- プレダイヤルする場合、発信履歴ログ内の一致する番号 (ある場合) が電話機に表示され、ダイヤルする番号が電話機によって予測されます。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、[ダイヤル] を押してオフフックにします。
- 間違っってダイヤルした場合は、<< を押して番号を消去します。

コールの発信：追加のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  を押して、短縮ダイヤル番号を選択し、[ダイヤル] を押します。 •  を押して、[ディレクトリ] > [短縮ダイヤル] を選択します。番号を選択し、[ダイヤル] を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファーストダイヤル機能を使用します。 	P.27 の「 短縮ダイヤル 」
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. 名前を入力し、[検索] を押します。 3. リストを強調表示し、オフフックにします。 	P.44 の「 履歴の使用方法 」
Cisco WebDialer を使用してパーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	P.60 の「 Cisco WebDialer の使用方法 」
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼出中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [折返し] を押します。 2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。 3. コールをもう一度発信します。 	システム管理者
プライオリティ（Precedence）コールをかける（SCCP 電話機のみ）	Multilevel Precedence and Preemption（MLPP）アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	P.36 の「 重要なコールの優先順位付け 」
Personal Address Book（PAB; 個人アドレス帳）のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択し、ログインします。 2. [個人アドレス帳] を選択し、リスト項目を検索します。 	P.48 の「 電話機での個人ディレクトリの使用方法 」

目的	操作	参照先または問い合わせ先
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 番号をダイヤルします。 トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	P.37 の「Cisco エクステンション モビリティ の使用方法」

コールへの応答

ハンドセットを取り上げるだけでコールに応答できます。また、電話機で使用可能な場合は、他のオプションを使用することもできます。

目的	操作	参照先
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押します。	P.18 の「コールの保留と復帰」
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	P.18 の「コールの保留と復帰」
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	[即転送] を押します。	P.21 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	P.41 の「自動応答の使用」
別の電話機でパークされたコールを取得する	コール パークを使用します。	P.33 の「パークされているコールの保存と取得」
自分の電話機を使用して別の電話機で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	P.29 の「自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答」
プライオリティ コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断し、[応答] を押します。	P.36 の「重要なコールの優先順位付け」



コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。



目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または【終了】を押します。
(スピーカを使用して) コールをモニタしているときに切断する	【終了】を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	【終了】を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるため、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。


目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。
コールを保留から復帰する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2.  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 保留状態のコールは、保留アイコン  で示されます。保留状態のコールが強調表示されている場合、保留ボタン  が赤く点灯します。保留にしていないコールが強調表示されており、回線上に保留状態の別のコールがある場合は、保留ボタンが点滅状態（赤）に変わります。

複数のコールの切り替え

電話機で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
接続コールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。  を押します。アクティブ コールが保留状態になり、選択したコールが復帰します。
接続コールから切り替えて呼出中のコールに応答する	[応答] を押します。アクティブ コールが保留状態になります。

複数のコールの表示




電話機で複数のコールが表示されるしくみを理解することは、コールの処理方法を確認するために役立ちます。

電話機では、強調表示されている回線についてコールが次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間が最も長いコールが、コールのリストの先頭に表示される。
- 同じタイプのコールはまとめて表示される。たとえば、相互に通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾付近にまとめて表示されます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブコールで、[転送]を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. [転送]をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブコールで、[転送]を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. [転送]をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、切断によって転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する（直接転送、SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none">1. その回線における任意のコールをスクロールして強調表示します。2. [選択]を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で[D転送]を押します（[D転送]を表示するために[次へ]を押すことが必要な場合があります）。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに[参加]を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	[即転送] を押します。詳細については、 P.21の「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」 を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または[転送]を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、[転送]をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [転送]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。● をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送]を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送]を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送]でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送]を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。


目的	操作
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送]を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 電話スクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送]をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのすべてのコールの転送

すべてのコールを転送する機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
回線のコール転送を設定する	[不在]を押して、転送先の電話番号を入力します。
回線のコール転送をキャンセルする	[不在]を押します。
回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none">交互に点滅するコール転送のアイコン  が電話番号の横に表示される。コール転送の転送先番号がステータス行に表示されている。
コール転送をリモートで設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします (P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。コール転送設定にアクセスします (P.59 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。



ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできませんが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線に固有の機能です。コール転送が有効でない回線にコールが到達すると、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送の状態を変更できます。

サイレントの使用法

(SIP 電話機のみ)

サイレント機能を使用すると、電話機の着信コールをビジー音でブロックできます。

目的	操作
サイレントをオンにする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。 2. [Yes] を選択してから、[保存] を押します。 ステータス行に「サイレント」と表示され、[サイレント] ソフトキーが追加されます。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーを押します。または、次の操作を行います。 <ol style="list-style-type: none"> 1.  > [デバイス設定] [コールの設定] [サイレント] を押します。 2. [No] を選択してから、[保存] を押します。

ヒント

- サイレントがオンの場合は、次のようになります。
 - サイレント ブロック機能は、使用している電話機のすべての回線に適用されます。
 - 着信履歴は電話機の不在履歴ディレクトリに記録されません。
- 電話機で [サイレント] と [不在] の両方が有効になっている場合は、着信コールに対して [不在] が優先されます。つまり、コールが転送され、発信者にビジー音が聞こえません。
- 電話機で [サイレント] が有効でない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

標準の会議コール

標準の会議を作成する方法は複数あります。作成方法は、ニーズと電話機で使用できるソフトキーによって異なります。

- **[会議]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で使用可能なデフォルトの機能です。
- **[参加]**: このソフトキーは、すでに 1 つの回線にある複数のコールを参加させて、標準の会議を開催するときに使用します（SCCP 電話機のみ）。
- **[C 割込]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加して、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ使用できます。

手順の詳細については、[P.25 の「標準の会議の開催と参加」](#)を参照してください。



Meet-Me 会議コール

Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号に発信することによって作成できます。

手順の詳細については、[P.26 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」](#)を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1つのコールで3名以上の参加者が会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> 参加者にコールを発信して会議を作成する すでに開催されている会議に新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[会議]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[会議]を表示します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールが接続されるまで待ちます。 4. もう一度[会議]を押して、参加者をコールに追加します。 5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
すでに存在する2つ以上のコールを参加させて、会議を作成する（SCCP 電話機のみ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1つの回線に2つ以上のコールがあることを確認します。 2. 会議に追加するコールを強調表示します。 3. [選択]を押します。 選択したコールで、アイコン  が表示されます。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールのいずれかで、[参加]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します）。 <p> (注) アクティブなコールは、自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線のコールに割り込むことにより、会議を作成する	共有回線でコールを強調表示し、 [C 割込] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、 [C 割込] を表示します）。 P.30の「共有回線の使用」 を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [参加者]を押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。



目的	操作
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 参加者の名前を強調表示します。 [削除]を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	切断するか、または[終了]を押します。

ヒント

- [会議]または[参加]を使用してコールを会議に追加するには、コールが同じ回線上にある必要があります([参加]は、SCCP 電話機でのみ使用可能です)。
- 電話機の設定内容によっては、会議を作成した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルすることで会議を開催したり、会議に参加したりできます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開始する	<ol style="list-style-type: none"> システム管理者に問い合わせ、Meet-Me 電話番号を取得します。 番号を参加者に配布します。 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤルトーンを聞き、[ミーミー]を押します。 Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 これで、参加者はダイヤルインすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度コールする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度コールしてください。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議が自動的に終了することはありません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

短縮ダイヤル



短縮ダイヤル機能を使用すると、インデックス番号の入力、または電話スクリーンの項目の選択により、コールを発信できます。設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル
- 固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



(注)

- 短縮ダイヤル番号と固定短縮ダイヤルを設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.52 の「Web での電話機のカスタマイズ」を参照してください。
- ファーストダイヤルを設定するには、個人ディレクトリ機能にアクセスする必要があります。P.48 の「電話機での個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。
- または、システム管理者がユーザに代わって短縮ダイヤル機能を設定できます。

目的	操作
短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="344 222 1209 280">1. 短縮ダイヤル番号を設定します。P.56の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 <li data-bbox="344 313 1209 402">2. コールを発信するには、を押すか、を押して[ディレクトリ]>[短縮ダイヤル]を選択します。
固定短縮ダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="344 409 1209 467">1. 固定短縮ダイヤルコードを設定します。P.56の「Webでの短縮ダイヤルの設定」を参照してください。 <li data-bbox="344 483 1209 548">2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤルコードを入力し、[短縮]を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="344 555 1209 646">1. 個人アドレス帳のエントリを作成し、ファーストダイヤルコードを割り当てます。P.54の「Webでの個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。 <li data-bbox="344 662 1209 756">2. コールを発信するには、電話機のファーストダイヤルサービスにアクセスします。P.48の「電話機での個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。

自分の電話機でリダイレクトされたコールに応答

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼出中のコールを自分の電話機にリダイレクトすることで、そのコールに応答できます。同僚とコール処理を分担している場合は、コール ピックアップを使用すると便利です。

目的	操作
自分のコール ピックアップ グループ内の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [ピック]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [ピック]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [ピック] を表示してから押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [G ピック]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [G ピック]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [G ピック] を表示してから押します。 グループ ピックアップ コードを入力します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられたグループ内の別の内線で鳴っているコールに応答する	<ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> [他 Grp]ソフトキーを使用できる場合は、このキーを押します。 [他 Grp]ソフトキーを使用できない場合は、オフフックにして [他 Grp] を表示してから押します。 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、ここでコールに接続されます。 コールが鳴った場合は、[応答] を押してコールに接続します。

ヒント

- [**ピック**] および [**G ピック**] を押すと、一番長く鳴り続けているコールに接続されます。
- [**他 Grp**] を押すと、プライオリティが最も高いピックアップグループ内のコールに接続されます。


共有回線の使用

次のような場合、共有回線を使用するようにシステム管理者から求められる可能性があります。

- 複数の電話機を使用しているが、必要な電話番号は1つである場合
- 同僚とコール処理のタスクを分担する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中のアイコン

リモートで使用中のアイコン  は、共有回線の別の電話機に接続コールがある場合に表示されます。リモートで使用中のアイコンが表示されていても、通常どおり共有回線でコールを発信および受信できます。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有する各電話機には、共有回線で発信および受信されたコールの情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および通話時間が含まれます（例外については、[P.30](#) の「[プライバシー](#)」を参照してください）。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有するユーザおよび同僚は **[割り込み]** または **[C 割込]** を使用して、自分自身をコールに追加できます。[P.31](#) の「[共有回線のコールへの参加](#)」を参照してください。

プライバシー


回線を共有している同僚に対して自分のコールに関する情報が表示されないようにするには、[プライバシー](#) 機能を有効にします。この機能を有効にすると、自分のコールに同僚が割り込むのを防止することもできます。[P.32](#) の「[他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止](#)」を参照してください。



(注) 共有回線でサポートされるコールの最大数は、電話機によって異なります。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて、割り込み機能または C 割り込み機能を使用して共有回線のコールに自分自身を追加できます。

目的	操作
共有回線が使用中であるか確認する	リモートで使用中のアイコン  が表示されていることを確認します。
[割り込み] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> リモートで使用中のコールを強調表示します。 [割り込み] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[割り込み] を表示します)。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[C 割込] ソフトキーを使用して共有回線のコールに自分自身を追加する	<ol style="list-style-type: none"> リモートで使用中のコールを強調表示します。 [C 割込] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[C 割込] を表示します)。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話スクリーン上のコールに関する情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議の参加者を追加する	<p>[C 割込] が使用可能な場合は、このキーを使用してコールに割り込みます。</p> <p>[割り込み] とは異なり、[C 割込] を使用すると、コールが標準の (アドホック) 会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P.24 の「会議コールの使用方法」を参照してください。</p>
割り込んだコールを切断する	<p>切断します。</p> <p>[割り込み] を使用した後にコールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールが続行します。</p> <p>[C 割込] を使用した後にコールを切断すると、回線に 3 名以上の参加者が残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 共有回線を使用中のある電話機でプライバシー機能を有効にしている場合、その回線を共有している他の電話機には、コール情報と割り込み関連のソフトキーが表示されません。
- [割り込み] を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止

電話回線を共有している場合、プライバシー機能を使用すると、この回線を共有している他者が自分のコールを表示したりコールに割り込んだり（自分自身を追加）しないようにできます。

目的	操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりできないようにする	<ol style="list-style-type: none">1. [次へ]>[非通知]を押します。2. プライバシーがオンになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが有効であることを示すアイコン ■ が「非通知」の横に表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none">1. [次へ]>[非通知]を押します。2. プライバシーがオフになっていることを確認するには、電話スクリーンに、プライバシーが無効であることを示すアイコン □ が「非通知」の横に表示されていることを確認します。

ヒント

- 自分の回線を共有している電話機がプライバシー機能を有効にしている場合、通常どおり共有回線を使用してコールを発信および受信できます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線が割り当てられている電話機でプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified CallManager システムの別の電話機（同僚のデスクや会議室の電話機など）でコールを取得できます。

目的	操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に、[パーク]を押します（必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[パーク]を表示します）。2. 電話スクリーンに表示されたコールのパーク番号を記録します。3. 切断します。
パークされたコールを取得する	ネットワーク内の任意の Cisco Unified IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。





(注) パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細についてはシステム管理者にお問い合わせください。

安全なコールの送受信

システム管理者が電話機システムをどのように設定したかによって異なりますが、電話機では安全なコールの送受信がサポートされます。

電話機では、次のタイプのコールがサポートされます。

- **認証されたコール**：コールに参加しているすべての電話機の ID が検証されています。
- **暗号化されたコール**：電話機では、Cisco IP ネットワーク内で暗号化された音声（会話）が送受信されています。暗号化済みのコールは認証済みのコールでもあります。
- **ノンセキュア コール**：参加している電話機または接続の少なくとも 1 つでセキュリティ機能がサポートされていないか、電話機を検証できません。

目的	操作
コールのセキュリティ レベルを確認する	<p>コール アクティビティ領域の右上、通話時間タイマーの横にあるセキュリティ アイコンが、次のいずれかの状態になっていることを確認します。</p> <p> 認証されたコール</p> <p> 暗号化されたコール</p> <p>コールがノンセキュアの場合は、どちらのセキュリティ アイコンも表示されません。</p>
社内で安全なコールを発信できるかどうかを判断する	システム管理者にお問い合わせください。



(注) 相互作用や制約、制限によって、電話機におけるセキュリティ機能の動作が悪影響を受ける場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

(SCCP 電話機のみ)

不審（迷惑）なコールを受信している場合、システム管理者は電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用すると、アクティブなコールを不審なコールとして識別できます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
システム管理者に不審なコールまたは嫌がらせのコールの受信を通知する	[迷惑呼] を押します。 電話機でトーンが再生され、「迷惑呼が成功しました」というメッセージが表示されます。

重要なコールの優先順位付け

(SCCP 電話機のみ)

官庁のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。



目的または状態	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な (通常より速い) 呼出音または特別なコール待機のトーンが聞こえる	プライオリティ (Precedence) コールを受信しています。電話スクリーンの MLPP アイコンが、コールのプライオリティレベルを示します。
コールのプライオリティレベルを表示する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none">▣ プライオリティ コール▣▣ プライオリティのやや高い (即時) コール▣▣▣ プライオリティの高い (フラッシュ) コール▣▣▣▣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	通常どおりコールに応答します。必要に応じて、先にアクティブコールを終了します。
コールを中断する音が連続的に聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断して、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用方法

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ) を使用すると、Cisco Unified IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログインすると、電話回線、機能、設定済みのサービス、Web ベースの設定などのユーザ プロファイルが電話機に採用されます。EM は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. システム管理者によって提供されたユーザ ID と PIN を入力します。 3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[サービス] > [EM Service] を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログアウトを求めるプロンプトが表示されたら、[はい] を押します。

ヒント

- 一定期間が過ぎると、ユーザは EM から自動的にログアウトされます。この時間制限は、システム管理者によって設定されます。
- ユーザ オプション Web ページで EM プロファイルを変更した場合、新しい内容は、電話機の EM に次回ログインするとき有効になります。
- 電話機でのみ制御されている設定は、ユーザの EM プロファイルでは保持されません。

ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカの使用法



Cisco Unified IP Phone 7906G および 7911G では、スピーカを使用してハンズフリーで音声を聞くことができます。スピーカは、通話を聞くためだけに使用できます。通話中に会話するには、ハンドセットを使用します。

次の 2 つの方法のいずれかで、スピーカを使用できます。どちらの方法を使用できるかは、システム管理者が電話機に対してどちらの機能を有効にしているかによって決まります。電話機に対して次のどちらかの機能を有効にできますが、両方を同時に有効にすることはできません。

- グループ リッスン
- モニタ (デフォルト)

グループ リッスン機能の使用法

次の表は、グループ リッスン機能の使用法を示しています。



目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
ハンドセットを使用して話すと同時に、スピーカで聞く(グループ リッスン)	<p>[Glisten] を押します。</p> <p> (注) システム管理者がグループ リッスンを有効にしている場合にだけ、[Glisten] ソフトキーが表示されます。</p>
グループ リッスンをオフにし、ハンドセットを使用する	[GLOff] を押します。
グループ リッスンの使用後に切断する	[終了] を押すか、または切断します。
コールの音量レベルを調節する	<p> (注) グループ リッスンを使用している場合は、音量を調節すると、ハンドセットではなくスピーカの音量だけが変更されます。</p> <p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>





(注) システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、[**Glisten**]、[**GLOff**]、[**モニタ**] および [**モニタオフ**] の各ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。

モニタ機能の使用方法

次の表は、モニタ機能の使用方法を示しています。

目的	操作
ハンドセットを使用する	オフフックにするにはハンドセットを取り上げます。オンフックにするにはハンドセットを受け台に戻します。
通話をスピーカで聞く	<p>[モニタ] を押し、ハンドセットを置きます。通話を聞くことはできませんが、話すことはできません。</p> <p> (注) グループ リッスンが有効である場合、[モニタ] ソフトキーと[モニタオフ] ソフトキーは使用できません。</p>
スピーカをオフにし、ハンドセットを使用する	<p>ハンドセットを取り上げるか、[モニタオフ] を押します。</p> <p> (注) グループ リッスンが有効である場合、[モニタ] ソフトキーと[モニタオフ] ソフトキーは使用できません。</p>
スピーカをオフにし、終了する	[終了] を押します。
コールのスピーカ音量レベルを調節する	<p>コール中またはダイヤル トーンが聞こえているときに音量の上下ボタンを押します。</p> <p>以降のコール用に音量レベルを保存するには、[保存] を押します。</p>

 **(注)** システム管理者によって電話機のスピーカを使用できないように設定されている場合、[**Glisten**] [**GLOff**] [**モニタ**] および [**モニタオフ**] の各ソフトキーは使用できません。ハンドセットを取り上げて、コールの発信やモニタを行う必要があります。

 **(注)** **音量** ボタンを押すと、使用中の装置（ハンドセットまたはスピーカ）の音量が変わります。グループ リッスン モードおよびモニタ モードでは、音量調節はスピーカを対象としており、ハンドセットを対象としていません。

ヘッドセットの使用と購入

ヘッドセットを使用するには、ハンドセットを取り外し、ヘッドセットをハンドセットポートに接続します。

ヘッドセットの購入については、P.9の「[ヘッドセットについて](#)」を参照してください。ヘッドセット製造業者の推奨事項によって異なりますが、外付け増幅器が必要になる場合があります。詳細については、ヘッドセット製造業者の製品マニュアルを参照してください。

自動応答の使用



自動応答が有効になっている場合、電話機では呼出音が2、3回鳴った後で着信コールが自動的に応答されます。システム管理者は、自動応答においてコールへの応答にスピーカを使用するよう設定できます。ただし、スピーカを使用してユーザが実行できるのは、コールをモニタすることだけです。発信者と通話するには、ハンドセットを取り上げる必要があります。


電話機の設定の使用方法

呼出トーン、背景イメージ、およびその他の設定を調整することにより、Cisco Unified IP Phone をカスタマイズできます。

呼出音およびメッセージ インジケータのカスタマイズ


着信コールおよび新しいボイス メッセージを電話機で示す方法をカスタマイズできます。また、電話機の呼出音の音量も調整できます。

目的	操作
呼出トーンを変更する	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[設定] > [ユーザ設定] > [呼出音] を選択します。2. 呼出トーンを選択し、[再生] を押してサンプルを聞きます。3. [保存] を押して呼出トーンを設定するか、[キャンセル] を押しします。
呼出音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします（P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。2. 呼出音のパターンの設定にアクセスします（P.59 の「Web での回線設定の制御」を参照してください）。 <p> (注) ユーザがこの設定にアクセスするには、事前にシステム管理者がユーザのアクセスを有効にすることが必要な場合があります。</p>

目的	操作
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	ハンドセットが受け台にある状態で、音量ボタンを押します。設定した呼出音の音量が自動的に保存されます。
ハンドセットにあるボイスメッセージのランプの動作を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. メッセージ インジケータの設定にアクセスします (P.59 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。 <p> (注) 通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、ハンドセットのライト ストリップのランプが点灯して、新しいボイスメッセージがあることが示されます。</p>

電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特性を調整できます。

目的	操作
背景イメージを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[設定]>[ユーザ設定]>[背景イメージ]を選択します。 2. 使用可能な画像をスクロールして[選択]を押し、画像を選択します。 3. [プレビュー]を押して、背景イメージの大きなビューを表示します。 4. [終了]を押して、選択メニューに戻ります。 5. [保存]を押して新しい画像を受け入れるか、[キャンセル]を押します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. ユーザ設定にアクセスします (P.58 の「Web でのユーザ設定の制御」を参照してください)。
回線テキスト ラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします (P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。 2. 回線テキスト ラベルの設定にアクセスします (P.59 の「Web での回線設定の制御」を参照してください)。





履歴およびディレクトリの使用方法



この項では、履歴およびディレクトリの使用方法について説明します。両方の機能にアクセスするには、**Ⓜ** を押して、**[ディレクトリ]** を選択します。

履歴の使用方法

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が保持されています。

目的	操作
履歴を表示する	Ⓜ を押して、 [ディレクトリ] > [不在履歴] 、 [発信履歴] 、または [着信履歴] を選択します。それぞれに最大 100 件までのレコードを保存できます。リストの省略された内容を表示するには、強調表示して、 [編集] を押します。
1 つのコール レコードの詳細を表示する	<ol style="list-style-type: none">Ⓜ を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。コール レコードを強調表示します。[詳細] を押します。この操作により、着信番号、発呼番号、時刻、通話時間（発信履歴と着信履歴の場合のみ）などの情報が表示されます。
すべての履歴からすべてのコール レコードを削除する	Ⓜ を押して [ディレクトリ] を選択し、 [クリア] を押します。
1 つの履歴からすべてのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">Ⓜ を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。コール レコードを強調表示します。[クリア] を押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[クリア] を表示します）。
1 つのコール レコードを削除する	<ol style="list-style-type: none">Ⓜ を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。コール レコードを強調表示します。[削除] を押します。

目的	操作
履歴からダイヤルする (別のコールに接続されていないとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。 <p> (注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述の ヒント を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します(必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します)。 4. コールを発信するには、オフフックにします。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続されているとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. 履歴にあるコールのレコードを強調表示します。 <p> (注) [詳細] ソフトキーが表示される場合、そのコールはマルチパーティコールのプライマリエントリです。後述の ヒント を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 表示された番号を編集する必要がある場合、[編集]を押してから、<< または >> を押します。番号を削除するには、[編集]を押してから、[削除]を押します(必要に応じて、[次へ]ソフトキーを押して、[削除]を表示します)。 4. [ダイヤル]を押します。 5. 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にします。 • [転送]: 最初の通話相手を2番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します(操作を完了するには、ダイヤルした後で[転送]をもう一度押します)。 • [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します(操作を完了するには、ダイヤルした後で[会議]をもう一度押します)。 • [終了]: 最初のコールを切断して、2番目のコールをダイヤルします。

目的	操作
履歴の URL エントリからコールを発信する (SIP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [不在履歴]、[発信履歴]、または [着信履歴] を選択します。 2. ダイヤルする URL エントリを強調表示します。 3. エントリを編集する必要がある場合は、[編集] を押します。  アイコンが表示され、URL エントリの文字の編集を開始できることを示します。 4. [ダイヤル] を押します。

ヒント

(SCCP 電話機のみ)

マルチパーティ コールの完全なコール レコードを表示するには、[詳細] を押します。詳細レコードでは、不在または着信のマルチパーティ コールごとに 2 つのエントリが表示されます。エントリは、新しい順に表示されます。

- 最初の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最後に完了したコールの名前と番号です。
- 2 番目の履歴エントリは、電話機で受信したマルチパーティ コールのうち、最初に完了したコールの名前と番号です。

ディレクトリ ダイヤル

設定に応じて、電話機は次のような社内ディレクトリおよび個人ディレクトリの機能を提供します。

- 社内ディレクトリ：システム管理者が設定して保守する社内の連絡先のディレクトリ。
- 個人ディレクトリ：(使用可能な場合) 電話機やユーザ オプション Web ページからユーザによる設定とアクセスが可能な、個人の連絡先および関連付けられた短縮ダイヤルコード。個人ディレクトリは、Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳) とファースト ダイヤルで構成されています。
 - PAB は、個人の連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルを使用すると、簡単にダイヤルできる短縮ダイヤル機能用に、コードを PAB エントリに割り当てることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用方法

社内ディレクトリを使用すると、同僚へのコールを発信できます。


目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続されていないとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ⓞ を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。 3. ダイヤルするには、リスト項目を選択し、オフフックにします。
社内ディレクトリからダイヤルする(別のコールに接続されているとき)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ⓞ を押して、[ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。 2. キーパッドを使用して、正式な名前または名前の一部を入力し、[検索] を押します。 3. 番号までスクロールし、[ダイヤル] を押します。 4. 次のいずれかを選択して、元のコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • [保留]: 最初のコールを保留にします。 • [転送]: 最初の通話相手を 2 番目の通話相手に転送し、自分のコールを終了します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [転送] をもう一度押します)。 • [会議]: 自分とすべての通話相手との間で会議コールを作成します (操作を完了するには、ダイヤルした後で [会議] をもう一度押します)。 • [終了]: 最初のコールを切断して、2 番目のコールをダイヤルします。



ヒント


電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での個人ディレクトリの使用方法

個人ディレクトリの機能セットには、個人アドレス帳 (PAB) とファースト ダイヤル コードが含まれます。この項では、電話機で個人ディレクトリを設定して使用方法について説明します。P.54 の「Web での個人ディレクトリの使用方法」も参照してください。

目的	操作
個人ディレクトリにアクセスする (PAB およびファースト ダイヤル コードの検索のため)	<ol style="list-style-type: none">1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ] を選択します (正確な名前は異なる場合があります)。2. Cisco Unified CallManager のユーザ ID と PIN を入力し、[送信] を押します。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. 個人ディレクトリにアクセスしてから、[個人アドレス帳] を選択します。2. 検索基準を入力し、[送信] を押します。3. [前へ] または [次へ] を選択して、リスト内を移動できます。4. 目的の PAB リスト項目を強調表示し、[選択] を押します。
PAB エントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。3. [ダイヤル] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[ダイヤル] を表示します)。4. 参加者の電話番号を入力します。5. ダイヤルする番号を強調表示し、[OK] を押します。6. 再び [OK] を押して番号をダイヤルします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[削除] を押します。3. [OK] を選択し、削除を確定します。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. リスト項目を検索します。2. 目的のリスト項目を強調表示し、[編集] を押して、名前または電子メール アドレスを変更します。3. 必要に応じて、[電話] を選択し、電話番号を変更します。4. [更新] を押します。

目的	操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人ディレクトリにアクセスしてから、[個人アドレス帳]を選択します。 2. [送信]を選択して[検索]ページにアクセスします（最初に検索情報を入力する必要はありません）。 3. [新規]を押します。 4. 電話機のキーパッドを使用して、名前と電子メール情報を入力します。 5. [電話]を選択し、キーパッドを使用して電話番号を入力します。必要なアクセスコード（9 や 1 など）を必ず含めてください。 6. [送信]を選択し、エントリをデータベースに追加します。
PAB エントリにファーストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ファーストダイヤル]を押します。 4. ダイヤルする番号を強調表示し、[選択]を押します。 5. その番号に割り当てるファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。
raw のファーストダイヤルコードを追加する(PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]>[個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [ファーストダイヤル]を押します。 3. 割り当てられていないファーストダイヤルコードを強調表示し、[選択]を押します。 4. [割り当て]を押します。 5. 電話番号を入力します。 6. [更新]を押します。
ファーストダイヤルコードを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ]>[パーソナルディレクトリ]>[個人ファーストダイヤル]を選択します。 2. [前へ]または[次へ]を選択して、リスト内を移動できます。 3. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。
ファーストダイヤルコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択]を押します。 3. [ダイヤル]を押します 4. [OK]を選択し、操作を完了します。

目的	操作
ファーストダイヤルコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルコードを検索します。 2. 目的のリスト項目を強調表示し、[選択] を押します。 3. [削除] を押します。
個人ディレクトリからログアウトする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  を押して、[ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を選択します（正確な名前は異なる場合があります）。 2. [ログアウト] を選択します。

ヒント




- 個人ディレクトリへのログインに必要なユーザ ID と PIN は、システム管理者から提供されます。
- 一定期間が過ぎると、ユーザは個人ディレクトリから自動的にログアウトされます。この時間制限はさまざまです。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- 電話スクリーンに文字を入力するには、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

ボイスメッセージへのアクセス

ボイスメッセージにアクセスするには、 を押して、[メッセージ] を選択します。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイスメッセージサービスは、会社によって決定されます。詳細については、ボイスメッセージサービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイスメッセージサービスの個人設定を行う	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。 •  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
新しいボイスメッセージの着信を確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • ハンドセットの赤いランプの点灯（このインジケータは異なる場合があります。P.42の「呼出音およびメッセージインジケータのカスタマイズ」を参照してください）。 • 電話スクリーン上の封筒アイコン 。
ボイスメッセージを聞く、またはボイスメッセージメニューにアクセスする	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • [メッセージ] を押して、音声の指示に従います。 •  を押して、[メッセージ] を選択し、音声の指示に従います。
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。詳細については、P.21の「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」を参照してください。

Web での電話機のカスタマイズ

Cisco Unified IP Phone は、社内の他のネットワーク デバイス（パーソナル コンピュータを含む）と情報を共有できるネットワーク デバイスです。コンピュータを使用して、Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページにログインし、ここで Cisco Unified IP Phone の機能、設定、およびサービスを制御できます。たとえば、ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル番号を設定できます。

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

この項では、ログインして電話デバイスを選択する方法について説明します。

目的	操作
ユーザ オプション Web ページにログインする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。 2. コンピュータで Web ブラウザを起動し、URL を入力してログインします。 3. セキュリティ設定の受け入れを求めるプロンプトが表示されたら、[はい] または [証明書のインストール] をクリックします。 メインの Cisco Unified CallManager ユーザ オプション Web ページが表示されます。このページから、[ユーザオプション] を選択して、ユーザ設定、ディレクトリ機能、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスできます。 また、電話機固有のオプションにアクセスするには、デバイスを選択します（次を参照してください）。
ログイン後にデバイスを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション ページにログインした後、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。 [デバイス設定] ページが表示されます。 2. 複数のデバイスが割り当てられている場合は、適切なデバイス（電話機モデルまたはエクステンション モビリティ プロファイル）が選択されていることを確認します。必要に応じて、[名前] ドロップダウン メニューから別のデバイスを選択します。 [デバイス設定] ページから、電話機に使用できるさまざまな設定オプションのすべてにアクセスできます（他のページでは一部のオプションにしかアクセスできない場合があります）。 <ul style="list-style-type: none"> - ユーザ設定、ディレクトリ、個人アドレス帳、およびファーストダイヤルにアクセスするには、[ユーザオプション] を選択します。 - 電話機固有のオプション（回線設定、電話機サービス設定、短縮ダイヤルなど）にアクセスするには、ツールバーのボタンを選択します。 別のページから [デバイス設定] ページに戻るには、[ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。

Web での機能とサービスの設定

この項の各トピックでは、ログイン後にユーザ オプション Web ページから機能とサービスを設定する方法について説明します。P.53 の「[ユーザ オプション Web ページへのアクセス](#)」を参照してください。

Web での個人ディレクトリの使用方法

コンピュータでアクセスできる個人ディレクトリ機能セットは、次のもので構成されています。

- Personal Address Book (PAB; 個人アドレス帳)
- ファースト ダイヤル
- Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer



(注) 電話機から PAB およびファースト ダイヤルにアクセスすることもできます。P.48 の「[電話機での個人ディレクトリの使用方法](#)」を参照してください。

Web での個人アドレス帳の使用方法

この項では、ユーザ オプション Web ページから PAB を使用する方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
新しい PAB エントリを追加する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. [新規] を選択します。3. エントリの情報を入力します。4. [保存] をクリックします。
PAB エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [個人アドレス帳] を選択します。2. 検索情報を指定して、[検索] をクリックします。
PAB エントリを編集する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 名前またはニックネームをクリックします。3. 必要に応じてエントリを編集し、[保存] をクリックします。
PAB エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none">1. PAB エントリを検索します。2. 1 つ以上のエントリを選択します。3. [選択項目の削除] をクリックします。

Web でのファーストダイヤルの設定

この項では、ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルを割り当てる方法について説明します。

目的	ログインした後の操作
PAB エントリにファーストダイヤルコードを割り当てる	<ol style="list-style-type: none"> 1. PAB エントリを作成します。P.54 の「Web での個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 3. [新規追加]をクリックします。 4. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 5. [検索オプション]領域を使用して、適切なPABエントリを見つけます。 6. [検索結果]領域で、電話番号をクリックします。 7. [保存]をクリックします。
電話番号にファーストダイヤルコードを割り当てる(PAB エントリを使用しない)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. [新規追加]をクリックします。 3. 必要に応じて、ファーストダイヤルコードを変更します。 4. 電話番号を入力します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 検索情報を指定して、[検索]をクリックします。
ファーストダイヤルの電話番号を編集する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ユーザオプション]>[ファーストダイヤル]を選択します。 2. 編集するファーストダイヤルエントリを検索します。 3. エントリのコンポーネントをクリックします。 4. 電話番号を変更します。 5. [保存]をクリックします。
ファーストダイヤル エントリを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファーストダイヤルを検索します。 2. 1つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除]をクリックします。

ヒント

- 最大 500 個のファーストダイヤル エントリおよび PAB エントリを作成できます。
- PAB エントリを使用せずに新しいファーストダイヤル エントリを作成できます。そのようなファーストダイヤル エントリにはユーザ オプション ページで「raw」というラベルが付いており、設定可能なテキストラベルが表示されません。

アドレス帳同期ツールの使用方法

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer を使用して、既存の Microsoft Windows アドレス帳（存在する場合）を PAB と同期させることができます。同期させると、Cisco Unified IP Phone およびユーザ オプション Web ページから Microsoft Windows アドレス帳のエントリにアクセスできるようになります。システム管理者によって、Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer へのアクセス権が与えられ、詳細な手順が示されます。


Web での短縮ダイヤルの設定

設定に応じて、電話機は次のような短縮ダイヤル機能をいくつかサポートします。

- 短縮ダイヤル番号
- 固定短縮ダイヤル
- ファースト ダイヤル




(注) 短縮ダイヤル機能の使用方法については、[P.27 の「短縮ダイヤル」](#)を参照してください。

目的	ログインした後の操作
短縮ダイヤル番号を設定する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [短縮ダイヤル] をクリックします。3. 電話機の短縮ダイヤル番号の番号とラベルを入力します。4. [保存] をクリックします。 <p> (注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>
固定短縮ダイヤルを設定する	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスを選択します。2. [短縮ダイヤル] をクリックします。3. 固定短縮ダイヤル コードの番号とラベルを入力します。4. [保存] をクリックします。
ファーストダイヤルを設定する	<p>P.55 の「Web でのファーストダイヤルの設定」を参照してください。</p> <p>電話機でファーストダイヤルを設定することもできます。P.48 の「電話機での個人ディレクトリの使用方法」を参照してください。</p>

Web での電話機サービスの設定

電話機サービスには、特別な電話機機能、ネットワーク データ、および Web ベースの情報（株式相場、映画情報など）が含まれます。電話機で電話機サービスにアクセスするには、まず電話機サービスに登録する必要があります。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [新規追加] をクリックします。 4. ドロップダウン リストからサービスを選択し、[次へ] をクリックします。 5. (省略可能)可能な場合は、サービス ラベルを変更したり、追加のサービス情報を入力したりします。 6. [保存] をクリックします。
サービスを検索する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [電話サービス] をクリックします。 3. [検索] をクリックします。
サービスを変更または解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. 1つ以上のエントリを選択します。 3. [選択項目の削除] をクリックします。
サービス名を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービスを検索します。 2. サービス名をクリックします。 3. 情報を変更して、[保存] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	電話機の  を押して、[サービス] を選択します。

Web でのユーザ設定の制御

ユーザ設定には、パスワード、PIN、および言語（ロケール）の設定が含まれます。

目的	ログインした後の操作
パスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ブラウザのパスワード] 領域で、情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
PIN を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [電話の PIN] 領域で、情報を入力します。3. [保存] をクリックします。
ユーザ オプション ページのロケール（言語）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [ユーザ設定] を選択します。2. [ユーザ設定] ページの [ユーザロケール] 領域で、[ロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。
電話スクリーンの言語（ロケール）を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [ユーザオプション] > [デバイス] を選択して、[デバイス設定] ページに移動します。2. [ユーザロケール] ドロップダウン リストから項目を選択します。3. [保存] をクリックします。

ヒント


PIN とパスワードでは、アクセスできる機能およびサービスが異なります。たとえば、電話機で Cisco エクステンション モビリティまたは個人ディレクトリにログインするには、PIN を使用します。パーソナル コンピュータでユーザ オプション Web ページおよび Cisco WebDialer にログインするには、パスワードを使用します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。



Web での回線設定の制御

回線設定は、特定の電話回線（電話番号）に影響を及ぼします。回線設定には、コール転送、ボイスメッセージ インジケータ、呼出音のパターン、および回線ラベルが含まれます。



- (注)**
- 電話機で直接コール転送を設定することもできます。P.22 の「別の電話番号へのすべてのコールの転送」を参照してください。
 - 電話機で直接アクセスできる電話機設定の詳細については、P.42 の「電話機の設定の使用方法」を参照してください。


目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
コール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. [着信コールの転送] 領域で、さまざまな条件のコール転送設定を選択します。 4. [保存] をクリックします。
メッセージ受信インジケータの設定を変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. [メッセージ受信ランプ] 領域で、さまざまな設定から選択します。 <p> (注) 通常、デフォルトのメッセージ受信設定では、電話機のハンドセットにあるライトストリップの赤いランプが点灯して、新しいボイスメッセージがあることが示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. [保存] をクリックします。

目的	ログインしてデバイスを選択した後の操作
呼出音のパターンを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. [検索] をクリックして、電話機を検索します。 4. [呼出音設定] 領域で設定を選択し、着信コールがあることを電話機が示す方法を指定します。 5. [保存] をクリックします。 <p style="text-align: center;"></p> <p>(注) 電話機がアイドル状態のときに着信コールを受信すると、「アイドル」呼出音設定が適用されます。電話機がアクティブなときに着信コールを受信すると、「連続」呼出音設定が適用されます。</p>
電話スクリーンに表示される回線テキストラベルを変更または作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. デバイスを選択します。 2. [回線の設定] をクリックします。 3. [回線のテキストラベル] 領域で、テキストラベルを入力します。 4. [保存] をクリックします。 <p style="text-align: center;"></p> <p>(注) 2 バイト文字セットをサポートしていない電話機は ASCII ラベルフィールドを使用します。</p>

Cisco WebDialer の使用方法

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザで項目をクリックすることにより、Cisco Unified IP Phone でディレクトリ内の連絡先にコールを発信できます。この機能は、システム管理者がユーザに対して設定する必要があります。

目的	操作
<p>ユーザ オプション ディレクトリで WebDialer を使用する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.53 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[ディレクトリ]を選択し、同僚を検索します。 3. ダイヤルする番号をクリックします。 4. 初めて WebDialer を使用する場合は、プリファレンスを設定し、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の段を参照してください）。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の段を参照してください）。 これで、電話機でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機で切断します。
<p>別のオンライン社内ディレクトリ（ユーザ オプションディレクトリではない）で WebDialer を使用する</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. WebDialer が有効な社内ディレクトリにログインし、同僚を検索します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。 4. 初めて WebDialer を使用する場合は、プリファレンスを設定し、[送信]をクリックします（詳細については、この表の最後の段を参照してください）。 5. コールの開始ページが表示されたら、[ダイヤル]をクリックします（今後このページを表示したくない場合、その方法の詳細については、この表の最後の段を参照してください）。 これで、電話機でコールが発信されます。 6. コールを終了するには、[コールの終了]をクリックするか、電話機で切断します。

目的	操作
WebDialer からログアウトする	コールの開始ページまたはコールの終了ページで、ログアウトのアイコンをクリックします。
WebDialer のプリファレンスを設定、表示、または変更する	<p>[初期設定] ページにアクセスします。</p> <p>WebDialer を初めて使用する場合は (ダイヤルする番号をクリックした後に) [初期設定] ページが表示されます。</p> <p>今後 [初期設定] に戻るには、コールの開始ページまたはコールの終了ページからプリファレンスのアイコンをクリックします。</p> <p>[初期設定] ページには、次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [優先する言語]: WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語を指定します。 • [常設の電話を使う]: WebDialer コールの発信に使用する Cisco Unified IP Phone および電話番号 (回線) を指定します。1 本の回線を持つ 1 つの電話機がある場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機および回線 (またはそのいずれか) を選択します。電話機は、ホスト名によって指定されます (電話機でホスト名を表示するには、 を押して、[設定] > [ネットワークの設定] > [ホスト名] を選択します)。 • [エクステンションモビリティを使用する]: オンの場合、WebDialer が、エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられている Cisco Unified IP Phone を使用するように要求されます (使用可能な場合)。 • [コールの確認ダイアログを表示しない]: オンの場合、WebDialer がコールの開始ページを表示しないように要求されます。このページは、WebDialer が有効なオンライン ディレクトリで電話番号をクリックした後に、デフォルトで表示されます。

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表の内容に関連する電話ガイドとその他のマニュアルには、
http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
自分の電話回線で処理できるコールを増やす	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である (SCCP 電話機のみ)	共有回線を使用することを検討します。	P.30 の「共有回線の使用」を参照してください。
1 つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば 1 つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で 사용할 ことができます。	P.30 の「共有回線の使用」を参照してください。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク: 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ: 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線: 同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できません。 • Cisco エクステンション モビリティ: 共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 応用的なコール処理 (P.27) • 共有回線の使用 (P.30) • Cisco エクステンション モビリティの使用法 (P.37)
自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティサービスについてシステム管理者に問い合わせます。	P.37 の「Cisco エクステンション モビリティの使用法」 を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco Unified IP Phone のトラブルシューティング情報を提供します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機の一般的な問題をトラブルシューティングするために役立つ情報を提供します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
ダイヤルトーンが聞こえない、またはコールを完了できない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> エクステンション モビリティ サービスにログインする必要がある。 電話番号をダイヤルした後で、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力する必要がある。(SCCP 電話機のみ) 電話機に時間帯制限が設定され、特定の時間帯に一部の機能を使用できない。
使用するソフトキーが表示されない	次の状況の 1 つ以上に該当している可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> [次へ] を押して、さらにソフトキーを表示させる必要がある。 回線の状態を変更する必要がある (たとえば、オフフックにするか、接続コール中にします)。 当該ソフトキーに関連付けられた機能をサポートするように電話機が設定されていない。
[参加] が失敗する (SCCP 電話機のみ)	[参加] を使用するには、複数のコールを選択する必要があります。自動的に選択されるアクティブコール以外に、少なくとも 1 つのコールを選択してください。
[割り込み] が失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。

症状	説明
[割込み]を使用して参加したコールから切断された	[割込み]を使用して参加していたコールが保留状態になるか、転送されるか、または会議コールに切り替えられた場合、そのコールから切断されます。
[折返し] が失敗する	通話相手がコール転送を有効にしている可能性があります。

電話機の管理データの表示

トラブルシューティングの一環として、電話機の管理データにアクセスするようにシステム管理者から求められる場合があります。

目的	操作
ネットワーク設定データにアクセスする	⊕ を押して、[設定] > [ネットワークの設定] を選択し、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータスデータにアクセスする	⊕ を押して、[設定] > [ステータス] を選択し、表示するステータス項目を選択します。
電話機のモデル情報にアクセスする	⊕ を押して、[設定] > [モデル情報] を選択します。
電話機のコールおよび音質の情報にアクセスする (SCCP 電話機のみ)	⊕ を押して、[設定] > [ステータス] > [コールの統計] を選択します。

Quality Reporting Tool の使用

パフォーマンスに関する問題をトラブルシューティングするため、システム管理者によって一時的に電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定される場合があります。[品質] を押すと、システム管理者に情報を送信できます。QRT は、設定に応じて次のように使用できます。

- 現在のコールのオーディオに関する問題をすぐに報告する
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択して、原因コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、Cisco.com で入手できます。次の手順を実行して、Cisco.com から *Cisco Information Packet* と保証およびライセンス契約書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03A0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。

- a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。

78-10747-01C0

- b. 文書を表示する言語を選択します。

- c. **Go** をクリックします。

Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力を致します。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

A

ASCII ラベル フィールドのサポート 56, 60

C

C 割込

使用 31

「割り込み」も参照

CallBack 16

Cisco Unified CallManager Address Book Synchronizer
56

Cisco Unified IP Phone

SCCP 14

SIP 14

☒ 10

接続 6

登録 8

トラブルシューティング 65

~の Web ベースのサービス 57

~の機能設定 14

~のマニュアル 2

ハンドセット受け台の固定 8

プロトコル 14

Cisco WebDialer 60

Cisco エクステンション モビリティ機能、使用
17

CMC 65

F

FAC 65

Forced Authorization Code

「FAC」を参照

M

Malicious Call Identification

「MCID」を参照

MCID

Meet-Me 会議 24, 26

MLPP、使用 36

P

PAB

Web ページからの使用 54

電話機で使用 48

PIN

変更 58

Q

Quality Reporting Tool 66

S
SCCP (Skinny Call Control Protocol) 14
SIP (Session Initiation Protocol) 14

T
TAPS 8
Tool for Auto-Registered Phones Support 8

W
Web ベースのサービス
設定 54
「ユーザ オプション Web ページ」も参照
WebDialer 60

あ
アイコン、コール状態の 13
アプリケーション メニュー、使用方法 12
アプリケーション メニュー ボタン 11
暗号化されたコール 34
安全上の警告 3
安全なコール 34

え
エクステンション モビリティ
EM 37

お
オフフック ダイヤル 15

音質 9
オンフック ダイヤル 15
音量
電話機の呼出音の 43
ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカ
の 39, 40
音量ボタンの図 11

か

会議コール
Meet-Me 24, 26
標準 24, 25
回線
共有 30
コールとの比較 13
説明 13
~でサポートされているコールの数 13, 63
~の説明 13
~のテキスト ラベル 60
~のボイス メッセージ インジケータの設定
59
~の呼出音のパターン 60
外部デバイス、使用方法 5

き

キーパッドの説明 11
機能、~のアベイラビリティ 14
共有回線
およびリモートで使用中のアイコン 30
~の説明 30
プライバシーの使用 32
割り込みの使用 31

- く
 - クライアント マター コード
 - 「CMC」を参照
 - グループ リススン 39
 - グループのコール ピックアップ 29

- け
 - 警告、安全上の 3
 - 言語（ロケール）の設定 58

- こ
 - コール
 - 安全な 34
 - 応答 17
 - 回線ごとの最大数 13
 - 回線との比較 13
 - 終了 18
 - ～での参加の使用 25
 - 転送 20, 22
 - ～のアイコン 13
 - ～の会議機能 24
 - ～の複数の参加者 24
 - ～の割り込みの防止 32
 - パーク 33
 - 発信 15, 16
 - 表示 11, 19
 - 複数、～の切り替え 19
 - 複数の処理 17
 - 報告、～に関する問題を 66
 - 保存と取得 33
 - 保留と復帰 18
 - モニタリング 38
 - 優先順位付け 36
 - 呼出中のリダイレクト 29
 - コールパーク 17, 33
 - コール ピックアップ 17, 29
 - コール処理
 - 応用的 27
 - 基本的な 15
 - コール待機 17
 - コール転送 22
 - Web ページからの設定 59
 - 電話機で設定 22
 - コールの切り替え 19
 - コールの発信、～のオプション 15, 16
 - コールへの応答 17
 - 個人アドレス帳
 - 「PAB」を参照
 - 個人アドレス帳（PAB）、～からダイヤル 16
 - 個人ディレクトリ
 - Web ページからの使用 54
 - 電話機で使用 48
 - 固定短縮ダイヤル 16, 27

- さ
 - サービス
 - ～への登録 57
 - サイレント 23
 - 参加、使用 24

- し
 - シグナリング プロトコル 14
 - 自動応答 17

自動ダイヤル	15	ダイヤル、～のオプション	15, 16
社内ディレクトリ		短縮ダイヤル	
Web ページからのダイヤル	16	使用	16
～からダイヤル	16	設定	27
電話機で使用	47	～の説明	28
終了、コールの～のオプション	18	ラベル	56
詳細ソフトキー、～でのマルチパーティ コールの表示	45		
使用方法、ヘッドセットの	9	ち	
		着信履歴、～のレコード	44
す		て	
スピーカ		ディレクトリ	
使用	18	Web ページからの使用	60
～でのコールへの応答	17	個人	48
スピーカ、使用	38	社内	47
すべてのコールの転送、～のオプション	22	電話機で使用	44
		ディレクトリ、～からダイヤル	16
せ		デバイス設定ページ	53
セキュリティ、コールの	34	転送、～のオプション	20
切断、～のオプション	18	電話回線、～の説明	13
設置、Cisco Unified IP Phone	6	電話機サービス	54
設定、カスタマイズ	42	「ユーザ オプション Web ページ」も参照	
		電話機サービス、設定	54
そ			
ソフトキー ボタン、～の説明	11	と	
		登録、電話機サービスへの	57
た		トラブルシューティング	
ダイヤル オプション		一般的な	65
基本的な	15	品質	66
追加	16		

な

ナビゲーション ボタンの図 11

に

認証されたコール 34

は

パーク、コールの 17

背景イメージ、カスタマイズ 43

パスワード、変更 58

発信、コールの 15

発信者 ID 11

発信履歴、~のレコード 44

ハンズフリーで音声を聞く 38

ハンドセット

受け台に固定 8

使用 39, 40

ライトストリップ 11

ひ

品質 66

ふ

ファースト ダイヤル

Web ページからの設定 49

電話機で使用 48

複数のコール、処理 17, 19

不在履歴、~のレコード 44

不審なコール、トレース 35

プライバシー

および共有回線 30

使用 32

プレダイヤル 15

へ

ヘッドセット

接続 9

パフォーマンス 9

ヘルプ、使用 12

ほ

ボイス メッセージ、アクセス 51

ボイス メッセージ インジケータ

~の設定の変更 59

~の説明 51

ボタン、特定 10

保留

およびコールの切り替え 19

および転送 20

使用 18

保留状態のコールの復帰 18

保留ボタンの図 11

ま

マニュアル、アクセス 2

マルチパーティ コール

~の詳細の表示 45

履歴での識別 45

め		削除	44
メッセージ		～で表示してダイヤル	44
聞く	51		
～のインジケータ	43		
メニュー、使用方法	12		
も			
モニタリング、コールの	38		
ゆ			
ユーザ オプション Web ページ			
アクセス	53		
～での機能とサービスの設定	54		
～での電話機サービスへの登録	57		
優先順位付け、コールの	36		
よ			
呼出音			
カスタマイズ	43		
～のインジケータ	11		
～の音量	43		
呼出音のパターン、変更	60		
呼出トーン、変更	42		
り			
リダイヤル	15		
リモートで使用中のアイコン、共有回線の	30		
履歴			
～からダイヤル	15		

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCCVP, the Cisco Logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0609R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



Java ロゴは、米国または一部の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。



シスコシステムズ株式会社

URL: <http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL: <http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501